

## 平成 19 年度学術ポータル担当者研修 レポート

受講者番号 16-1 大塩 和彦 (名古屋大学 情報文化学部・情報科学研究科図書掛)

16-2 金田 志保 (名古屋大学 医学部分館保健学情報掛)

16-3 森 由香 (名古屋大学 農学部・生命農学研究科図書掛)

### (1) 発表資料の状況設定

医学部保健学科 (2006 年度から博士号授与) の学務委員会において、博士論文のリポジトリへの登録を制度化することを提案する。

リポジトリの概要および他部局の情勢、登録の意義などについて、博士論文を中心に説明する。

### (2) 発表内容抄録と研修当日の講師からの指摘と資料の改訂

#### a) 研修当日の講師からの指摘と資料の改訂

① 学位論文について必ずしも公開という訳ではない。

「国会図書館へ 1 冊納本」 (=公開) という記述を削除した。

#### 学位規則 (参考)

(昭和二十八年四月一日文部省令第九号)  
最終改正:平成一九年三月一日文部科学省令第二号

#### 第五章 雑則

##### (論文要旨等の公表)

第八条 大学及び独立行政法人大学評価・学位授与機構は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から三月以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨を公表するものとする。

第九条 博士の学位を授与された者は、当該学位を授与された日から一年以内に、その論文を印刷公表するものとする。ただし、当該学位を授与される前に既に印刷公表したときは、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、当該博士の学位を授与した大学又は独立行政法人大学評価・学位授与機構の承認を受けて、当該論文の全文に代えてその内容を要約したものを印刷公表することができる。

この場合、当該大学又は独立行政法人大学評価・学位授与機構は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

② 雑誌に投稿された学術論文が学位論文の場合はどうしたらよいか。

スライドは特に変更せず、質問があった場合に備えることとした。

③ 保健学科のような学科だと、論文に臨床例を含むことがある。

スライドの 11 p にコメントを追加した。

#### b) 学内関係者最終打ち合わせでの指摘と資料の改訂

④ 保健学科特有の注意点に触れる必要がある。

・ 保健学科では学位論文を学術雑誌掲載することがある。

→ その場合、登録は著者最終稿となる可能性がある。

→ その場合、著作権問題などは査読によって保証される。

・ 複数著者による論文の場合、共著者の掲載許可が必要。

- ・ 2006 年度の博士論文を参照した（中央館に届いているもの）。

→ 出版社版の抜き刷りはない。

スライドの 13 p 「博論をリポジトリに載せると」を削除、新たに「登録制度化の留意点」というスライドと差し替えた。

- ⑤ 主題と直接関係しない部分を抑え目にした方がよい。

前半のリポジトリの説明に関するスライド 3-6 p のコメントを省略することにした。

### (3) リハプレゼンの概要(日時、場所、出席者、配布資料、内容)

日 時： 平成 19 年 9 月 19 日 (水) 18:00~18:10 (学科会議終了後)

場 所： 保健学科 本館大会議室

出席者： 教員 35 名 (教授のみ)

[附属図書館]

事務部長、情報システム課長、金田 (医保健)、大塩 (情言)、森 (農)

配布資料： 各 50 部

- ・ NAGOYA Repository への学位論文登録について： 名古屋大学医学部保健学科
- ・ 名古屋大学学術機関リポジトリへの博士論文の登録について (依頼)
- ・ 名古屋大学学術機関リポジトリ登録同意書
- ・ FAQ (<http://info.nul.nagoya-u.ac.jp/info/index.php/FAQ>)
- ・ パンフレット

内 容：

開始予定時刻がずれ込んだことによる時間的制約のため、学位論文の利用実態、登録制度化に係る学内動向などに絞り説明を行い、今後、先行事例を参考に制度づくりをご検討いただくようお願いした。

1) 事務部長挨拶 [3分]

2) 説明 (金田) [5分]

3) 質疑応答 [3分]

Q. リポジトリ登録にあたっての (出版者) 許諾は誰が取るのか。

A. 図書館にて対応いたします。

### (4) リハプレゼンへの反響

学科会議が長引いたため、発表の開始が遅くなり、発表時間も上記のように短くなった。発表の前半部分はほとんど省略し、本題の後半も短縮することになってしまった。かなり簡素な発表になった分、発表には集中してもらえた様子だったが、発表を理解してもらえたかどうかは疑問が残る結果となった。

### (5) その他(備考、今後の予定と希望)

保健学科の学科会議で博士論文のリポジトリの登録について審議され制度化することが承認された。登録する意思のある論文提出者は論文提出時に電子ファイルと同意書をあわせて提出することになった。